

びちくひんもくひょう
備蓄品目標リスト



ほ乳瓶が手に入らず紙コップで代用したがうまく飲ませることができなかった。



普段から少し多めに準備しておくとお便利だった。



震災のストレスで母乳が出なくなってしまった。



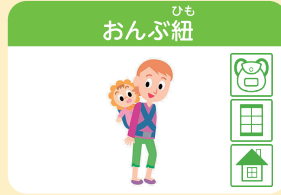
子どもの年齢やアレルギーも考えて、子どもに合ったものを備蓄しておく必要があった。



調理が必要なく、保存がさくものがなかった。食事の合間にお腹を空かせた子どもがいた。



和式に置く簡易トイレを子どもが怖がった。おむつを卒業した子どもでも、被災のショックで必要な状態に戻ることもあった。



避難する時に道路の隆起や障害物でベビーカーが使えなかった。



おむつ入れや、断水時にトイレに被せて使用できた。怪我の保護用や雨具などにも加工できるので小さなものから大きなものまで準備しておくとお便利だった。



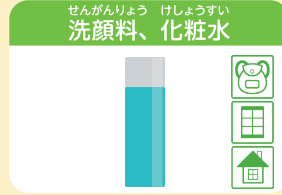
お湯の保温ができ、ミルクづくりにも役にたった。



支援が届くまでには時間がかかるため普段から小さなものをカバンの中に入れておくとお便利だった。



水道が止まり、洗濯ができなかった。下着が足りなかった。



洗顔ができなかった。

使い方

わが家の備蓄宣言

災害から太郎くんを守るために伊勢家では備蓄の点検を実施します。

品名	数量	期限	品名	数量	期限
水	本	年 月 日	トイレットペーパー	パック	←より減ったら補充
()の缶詰	個	年 月 日	ウェットティッシュ・おしり拭き	パック	←より減ったら補充
()のレトルト	個	年 月 日			

2 空欄には家族の話し合いで備蓄品を追加しましょう!

4 お子さんと一緒にチェックができたら〇をつけたリシールを貼りましょう!

3 点検予定日を記入しましょう!

お子さんと一緒に

定期的な備蓄チェック!

スタート

ゴール

28年4月1日 28年7月1日 28年10月1日

